

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力をお願い

昭和大学病院、昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

ヒルシュスプルング病の臨床病理学的・病理組織学的検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2016年11月1日～2021年1月20日に昭和大学病院および昭和大学横浜市北部病院で手術が行われたヒルシュスプルング病症例

2. 研究目的・方法

ヒルシュスプルング病は腸の神経発達がうまくいかず、「神経節細胞」という腸の働きを担う細胞が生まれつきない病気です。これにより腸の動きが悪くなり、自力での排便が困難となります。5000人に1人と珍しい病気です。神経節細胞のない腸管の長さは患者さんによって差があり、この腸管の長さによって症状や重症度が異なります。残念ながら、この病気の根治治療は手術しかありません。手術では、神経節細胞のない腸を切って取り除き、神経節細胞のある正常な腸と肛門をつなぎます。神経節細胞の有無は、顕微鏡を用いて判断します。当院では、腸管1cmあたりに神経節細胞が100個以上ある腸を正常な腸管としています。現在のところ当院で手術をされた方の経過は良好です。しかし、稀ではありますが全国的には神経節細胞の分布が不均一な症例も報告されており、長期的に患者さんの良好な状態を確保するためにはより正確な腸の神経発達の評価が必要です。

昭和大学病院および昭和大学横浜市北部病院 臨床病理診断科に保管されているヒルシュスプルング病の患者さんから手術ですでに切除された腸管を、神経発達の度合いや神経節細胞の分布について顕微鏡を用いて再度評価し、更なる治療成績向上を目指します。

研究期間

医学研究科 人を対象とする研究等に関する倫理委員会承認後、昭和大学医学研究科長、昭和大学病院および昭和大学横浜市北部病院 病院長の研究実施許可を得てから2024年3月31日まで。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、カルテ番号、病理診断報告書

試料：昭和大学横浜市北部病院および昭和大学病院臨床病理診断科において病理診断を行ったあとに保存されていた病理標本

(患者さまから新たな検体の採取をお願いすることはありません)

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学横浜市北部病院 臨床病理診断科

住所：〒224-8503 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

電話番号：045-949-7000

研究責任者：昭和大学横浜市北部病院 臨床病理診断科 亀山 香織